

つるおかの 医療相談



vol.3 胸の違和感と目のゴロゴロ

この連載では、医療の身近な疑問に、荘内病院の様々な診療科の医師がお答えします。3回目となる今回は、循環器科と眼科です。

年末年始は市内の医療機関がお休みとなり、荘内病院の救急センターを受診される方が多くなります。そのため、待ち時間が長くなる場合もありますし、状況によって診察の順番が変わる場合もあります。ご理解をお願いします。

○問合せ 荘内病院総務課 ☎26 - 5111

荘内病院の医師が
疑問を解決!



循環器科

胸の違和感が気になります

50代の事務職、男性です。最近、階段の昇降時に胸に違和感があります。心筋梗塞ではないか心配です。

狭心症や心筋梗塞は、心臓の筋肉に栄養を送っている冠動脈の血液の流れが悪くなり、心筋の一部に酸素不足（虚血）が生じ、胸に痛みや圧迫感を感じる病気です。

痛みは胸全体に感じますが、背中、肩、首、顎、腕、腹部まで痛みが広がることもあり、体の表面ではなく内部の深い箇所から感じます。押し付けられるような圧迫感や締め付けられるような痛みが多く、ひどい場合には、冷や汗を伴う場合もあります。痛みの長さは、狭心症では1分〜3分、長くても15分程ですが、心筋梗塞の場合は20分以上続きます。

また、糖尿病の方は、神経障害の影響で感覚が鈍くなり、症状が全く出ないこともあるので、症状の有無だけでは診断できない場合があります。

ご質問の例では、体を動かしただ際の胸の違和感であり、狭心症の可能性がありますが、早急な受診をお勧めします。また、

心筋梗塞は治療が遅れると状態が悪化するため、胸の痛みが20分以上続く場合は救急車の要請をお願いします。



荘内病院の循環器科

循環器内科領域の疾患は虚血性心疾患、弁膜症、心不全、不整脈など多岐にわたり、かつ治療法も進歩し各領域がより専門化しています。そのため、当院で先例がない先端の医療にも対応が可能なように、週1回は日本海総合病院のハートチームカンファレンスに参加、情報共有して、患者の皆さんに最適な治療ができるよう努めています。



循環器科医師
佐藤 匡

眼科

目がゴロゴロするのって何？

この頃、朝や夕方になると目がゴロゴロします。ゴロゴロする理由と、解決策を教えてください。



目がゴロゴロする、異物感がある、ショボショボするなどいろいろな言い方がありますが、おおむね「ドライアイ」か、「逆さまつげ」などの異物による刺激が考えられます。

外的な刺激から目の表面を保護する役割を担っているのが涙です。「ドライアイ」では涙が減少し、風やまばたきによる刺激でゴロゴロ感じてしまいます。涙の減少は主に加齢によることが多いですが、ほかに湿度低下による乾燥や、空調、喫煙、更には全身的な疾患も原因となることが分かっています。涙は水分だけではなく脂質やミネラルなどを含んでおり、それぞれを補充する点眼薬での治療が必要となります。ドライアイは治療で症状の改善が可能ですので、眼科医にご相談ください。

また、目のゴロゴロ感が多いのが睫毛乱生や睫毛内反など、いわゆる「逆さまつげ」といわれるものです。目の表面には知覚神経が密集していて、ささいな刺激に対しても過敏に反応し

ます。そのため、まつ毛のような細かい物でも痛みや異物感を覚えてしまいます。鉄片や木くずなどの小さいごみも同様です。睫毛乱生の治療や異物の除去は、眼科での対応が必要ですので受診をお勧めします。睫毛内反はまぶたの形やまつ毛の生え方に異常があるため、手術が必要になる場合があります。

荘内病院の眼科

庄内地域では数少ない、硝子体手術や涙道内視鏡手術を行うことができる施設です。点眼薬による治療から難症例の手術に至るまで幅広く専門的な手術を行っています。また、大学病院教授による外来や手術の執刀も定期的に行っています。目のことでお困りのことがあればいつでもご相談ください。



眼科医師
小林 達彦